

分野	看護の統合と実践 －看護の統合と実践－	対象学年	3
		時期	後期
授業科目	看護の統合と実践演習Ⅲ Integration and practice Nursing Practice Ⅲ	単位	1
		時間	30
		方法	講義・演習
担当教員	始業後、担当教員一覧および授業ガイダンスにて確認		
科目責任者	担当者複数の場合は、担当教員一覧にて確認		
授業概要	<p>領域別実習終了後、統合カンファレンスを行い、あらゆる対象に応じた看護について学んだ知識・技術を統合する。</p> <p>また、緊急・突発要件の発生時に適切な判断・対応を求められる中で、安全な看護の提供と複雑な状況での判断・対応ができるようより臨床に近い環境を想定し、看護の実践を学ぶ。</p>		
目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. あらゆる対象に応じた看護について学んだ知識・技術を統合する 2. タイムプレッシャー・多重課題発生時の対応が実践できる。 3. 緊急時の対応が実践できる。 4. 自己の傾向を踏まえ今後の課題を考える。 		
評価方法	<p>各領域(基礎以外)の統合カファレンス：各領域6点 計36点</p> <p>演習の参加態度を総合して判断する。</p> <p>多重業務・業務中断等事例演習：64点</p> <p>事前課題、個人ワーク・グループワークレポート、演習参加態度を総合して評価する。</p>		
使用テキスト			
参考図書			
メッセージ	<p><各領域の統合カファレンス></p> <p>領域別看護を学ぶ最後の機会となります。自己の気づきや考えを表現してみましょう。</p> <p><多重業務・業務中断等事例演習></p> <p>多重課題発生時どのように考えどのように行動するか考えましょう。</p> <p>今までの行動を振り返り、自己の傾向と課題を明らかにしましょう。</p>		

回数	単元・主題	授業のねらい	授業内容	方法	備考
1	精神看護学実習の学びの統合	精神看護について、既習の知識と実習での学びを統合する	<1～6：3年次領域別実習終了後の統合カファレンス> 1)精神看護学実習後の統合カファレンス テーマ：領域別実習を終えて、今考える精神看護		
2	老年看護学実習の学びの統合	老年看護について、既習の知識と実習での学びを統合する	2)老年看護学実習後の統合カファレンス テーマ：生活機能に視点をいた援助の効果について考える		
3	成人看護学実習の学びの統合	成人看護について、既習の知識と実習での学びを統合する	3)成人看護学実習後の統合カファレンス テーマ：成人期にある対象への健康状態に応じた看護について		
4	在宅看護論実習の学びの統合	在宅看護について、既習の知識と実習での学びを統合する。	4)在宅看護論実習後の統合カファレンス テーマ：在宅で生活する療養者とその家族の看護		
5	母性看護学実習の学びの統合	母性看護について、既習の知識と実習での学びを統合する	5)母性看護学実習後の統合カファレンス テーマ：「周産期および新生児期にある対象への看護とは」		
6	小児看護学実習の学びの統合	小児看護について、既習の知識と実習での学びを統合する	6)小児看護学実習後の統合カファレンス テーマ：様々な場で生活する子どもの看護実践とは		

7	多重課題時の総合判断(1)	事例を読み、対象の状態を理解し、Q1・2の対応を個人で考える	時間制限、割り込み業務、業務中断、多重処置の入った事例を使った演習を行い分析する 事例を読み対象の状態を理解し、Q1・2の対応を個人で考える		
8	多重課題時の総合判断(2)	事例を読み、対象の状態を理解し、Q1・2の対応をグループで考える	Q1・2の対応をグループで考える	GW	
9	多重課題時の総合判断、実際	複数受け持ち、タイムプレッシャーの中、多重課題をどのように判断するか実践しながら考える	場面①の状況に対するQ1:患者Aの援助中に患者Bへの対応をどうするか。患者Aからどのように離ればよいかをタイムプレッシャーの中、多重課題をどのように判断するか実践しながら考える。	演習	
10	(3)(4)				
11	多重課題時の総合判断、実際	複数受け持ち、タイムプレッシャーの中、多重課題時の総合判断が述べられる	グループ発表(プレゼンテーション) 対象の安全・安楽を考慮し、どのように判断し、なぜそうしたのか話し合う。	演習	
12	緊急時の対応、実際(1)	対象の緊急時の対応をどのように実践するのかを考える	場面②の状況に対するQ2:看護師としてどのように対応するか、緊急時の対応を実践しながら考える。	演習	
13	緊急時の対応、実際(2)	尿道留置カテーテルの交換の基本的知識、技術、態度を理解する	尿道留置カテーテルの交換	演習	
14	緊急時の対応、実際(3)	対象の緊急時の対応が述べられる	グループ発表(プレゼンテーション) 対象の状態をどのように判断し、なぜそうしたのか話し合う。	演習	
15	多重課題や緊急時の学びの統合	援助を振り返り、タイムプレッシャーや急変時の自分の傾向を知る	まとめ 演習でのタイムプレッシャーや多重課題時の自己の傾向を知り、患者の安全・安楽を守り、確実な援助を行うための行動を振り返る。	講義 GW	